

第2回 中心市街地復興まちづくり推進委員会

2 中心市街地の歴史・文化について

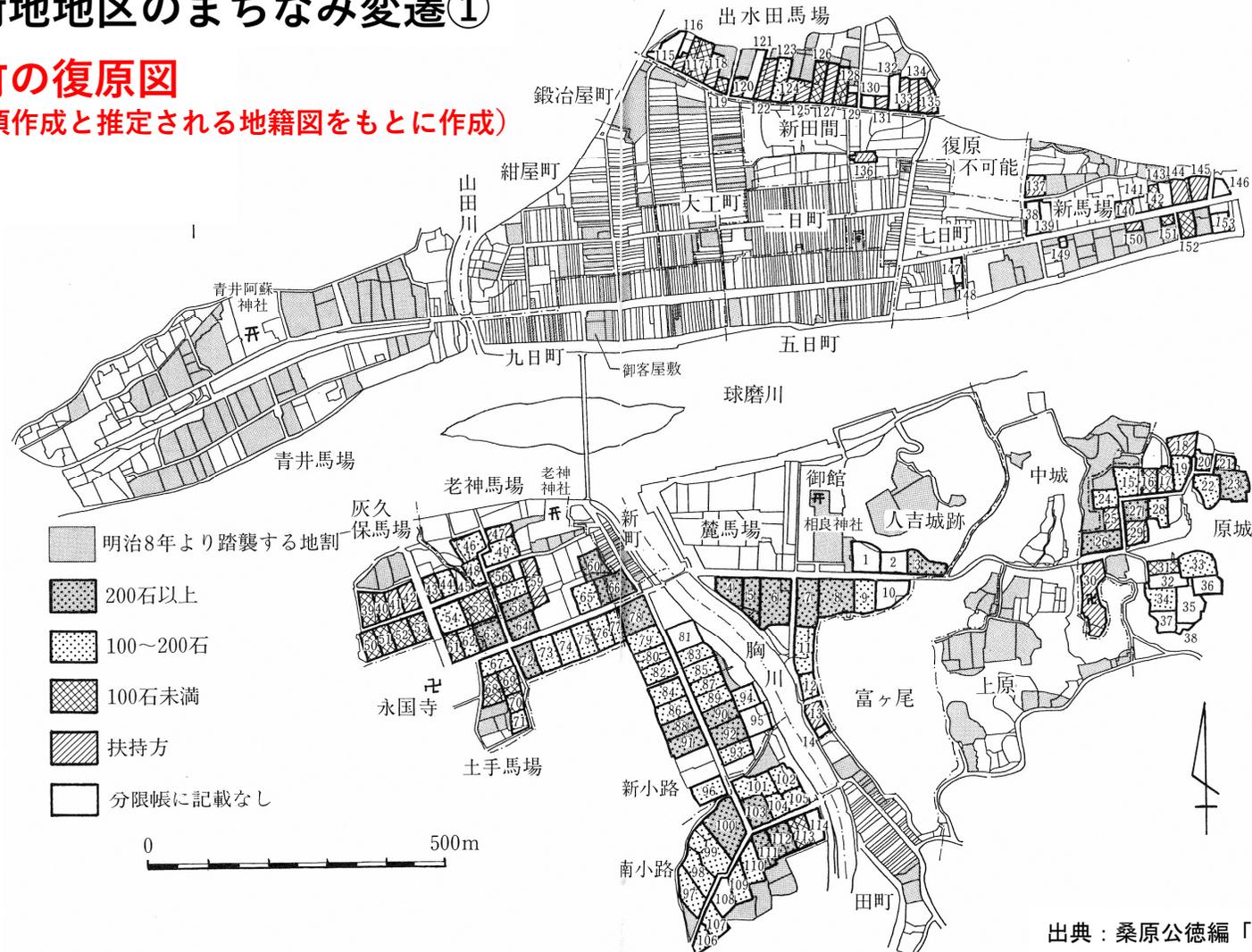
令和4年10月11日（火）
人吉市

町人の家屋は間口が2軒半（4.52m）と5軒（9.04m）。奥行25軒（約45m）。商家の場合、5軒を1箇所、2軒半を半箇所と呼び、1箇所商家と半箇所商家があった。鍛冶屋の場合は間口6軒が1箇所であった。なお、江戸時代中期の「延宝検地」の長さを基準とし、1軒を6尺（1.81m）としている。 出典：明治・大正時代の人吉七町

■中心市街地地区のまちなみ変遷①

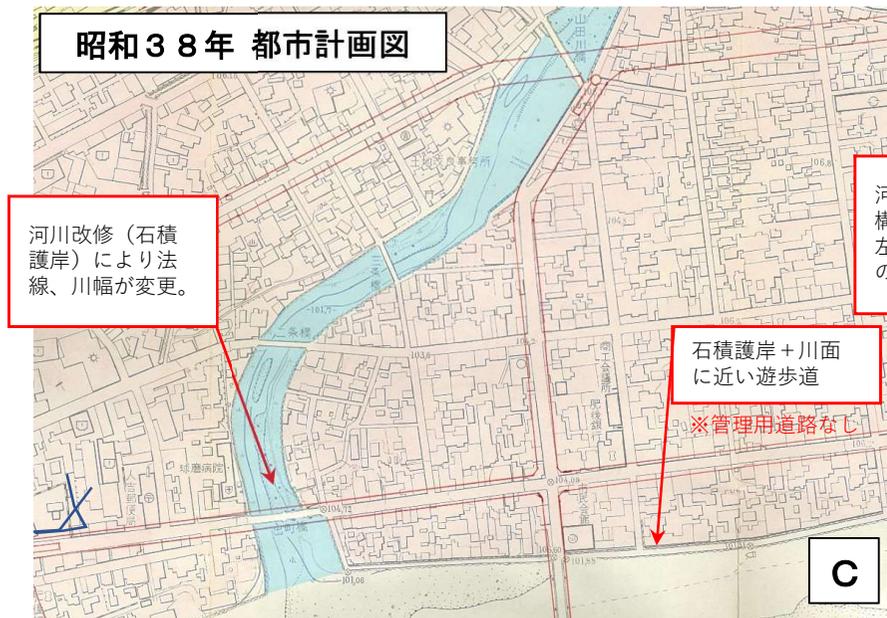
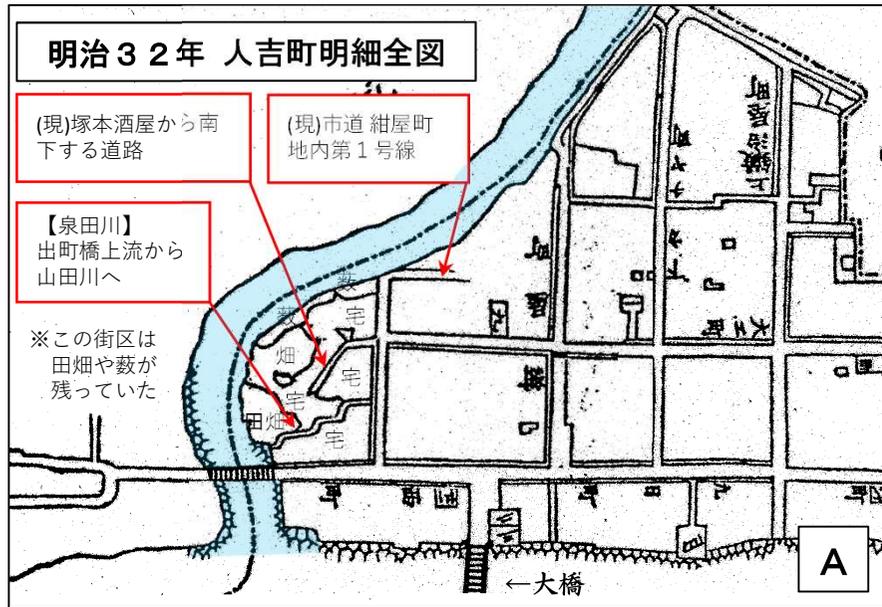
人吉城下町の復原図

（明治6～8年頃作成と推定される地籍図をもとに作成）



出典：桑原公德編「歴史景観の復原」

■中心市街地地区のまちなみ変遷④（山田川の変遷）

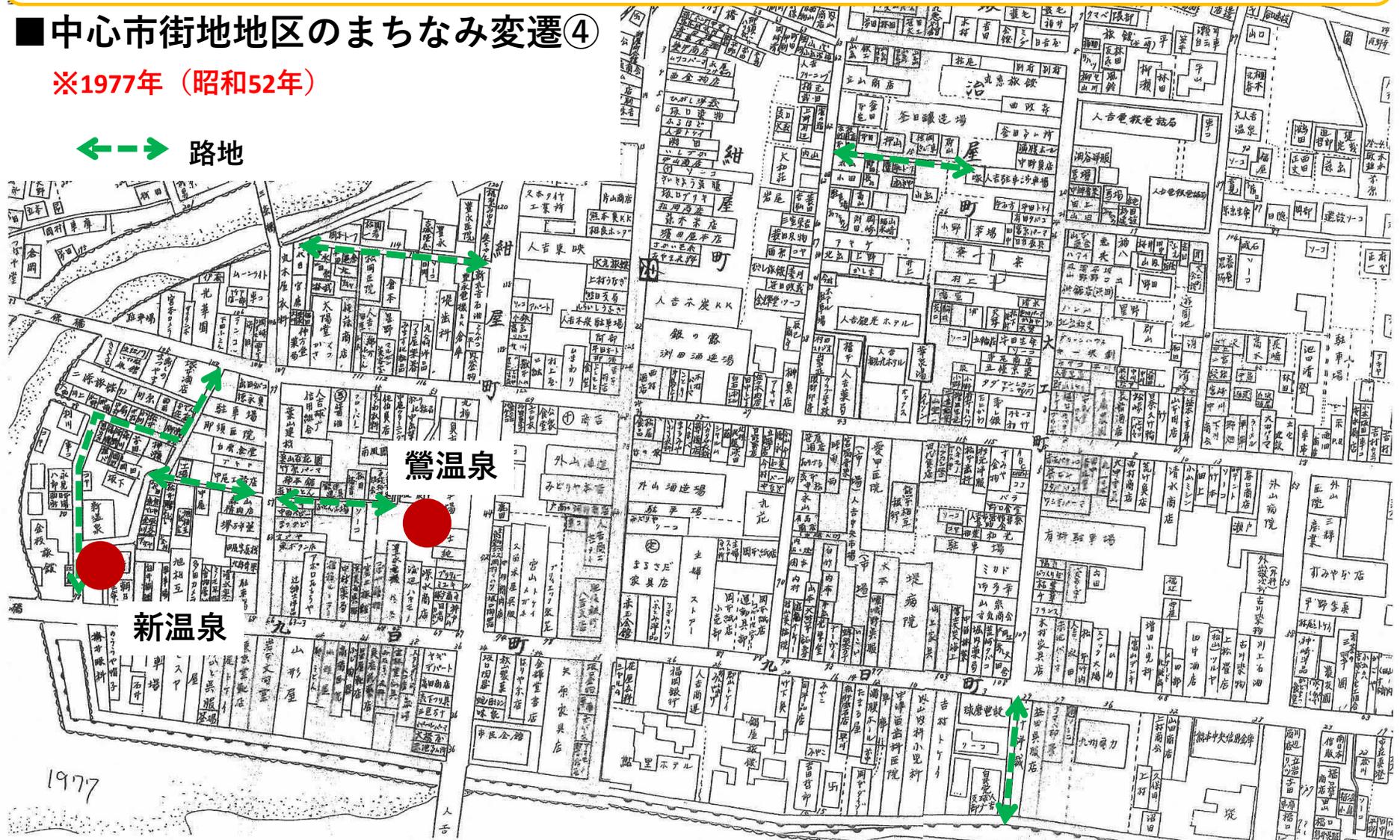


江戸時代からの町割り（約100m×100mの街区）が引き継がれ、街区には路地（歩行者専用の道）が確保され、まちを暮らしやすく使いこなしてきた。

■中心市街地地区のまちなみ変遷④

※1977年（昭和52年）

←→ 路地



図①九日町商店街の賑わい（昭和50年頃）



図 現在の風景



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図②九日町商店街（昭和30年代後半）



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図 現在の風景



(札ノ辻交差点)

図③九日町から見た大橋方面（昭和47年）



図 現在の風景



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図④横西町商店街（昭和33年）

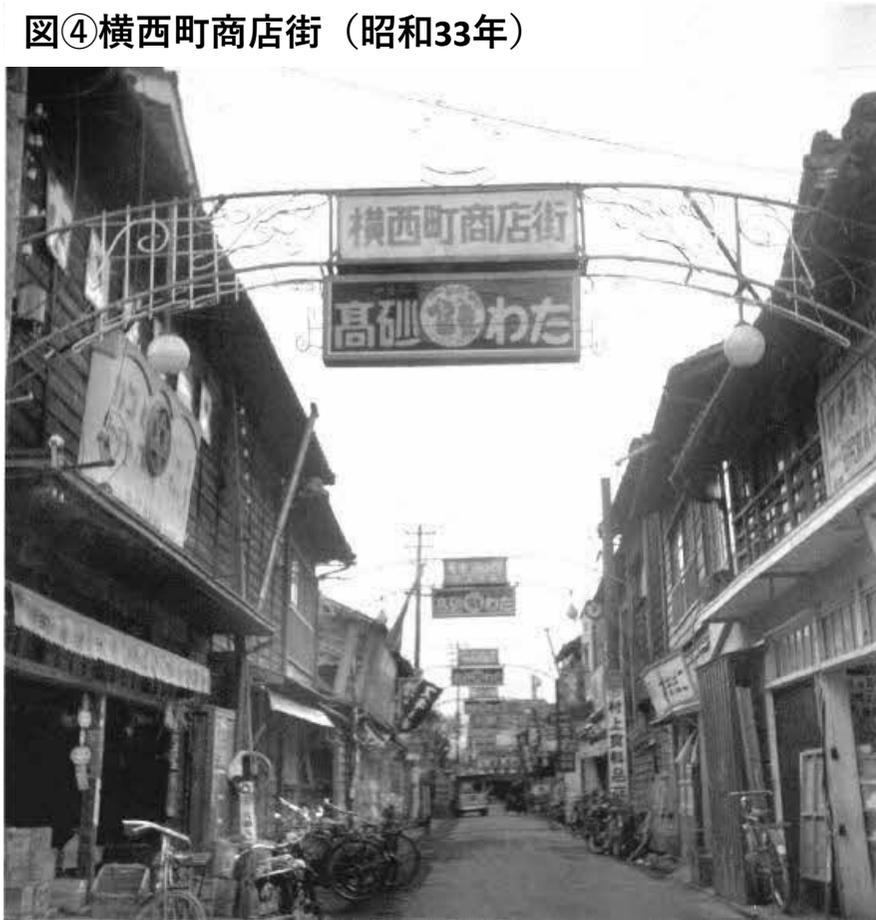


図 現在の風景



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図⑤紺屋町商店街の電飾看板（昭和30年頃）



図 現在の風景



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図⑥紺屋町だるま通り1（昭和33年）



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和



図 現在の風景



図⑦紺屋町界隈（昭和33年）



図 現在の風景



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図⑧紺屋町だるま通り2（昭和33年）



図 現在の風景



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図⑨市民会館（昭和40年頃）



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図 現在の風景



図⑩ 浸水した九日町商店街（昭和40年）



図 現在の風景



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

川に開いた建築形態。川への出入り口（エビスヤの文字中央部等）が確認できる。

図 九日町商店街の裏側の球磨川護岸の風景①（昭和30年）



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

↑
山田川

図 現在の風景



川への出入り口やバイク、自転車など川沿いが生活空間だったことが確認できる。

図 九日町商店街の裏側の球磨川護岸の風景②（昭和30年）



出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

バイク

自転車

図 現在の風景



2 中心市街地の歴史・文化について

19

川への出入り口やバイク、自転車など川沿いが生活空間だったことが確認できる。

図 九日町商店街の裏側の球磨川護岸の風景③（昭和30年）



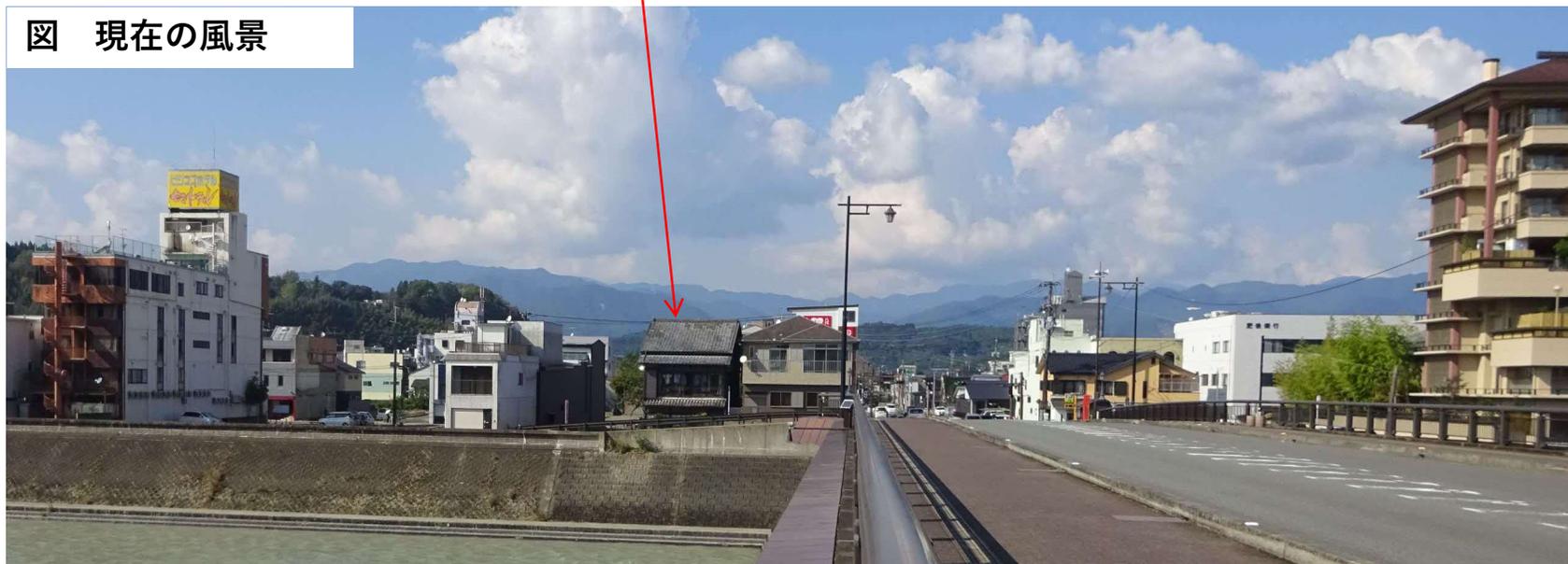
自転車

バイク

同じ建物？

出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図 現在の風景

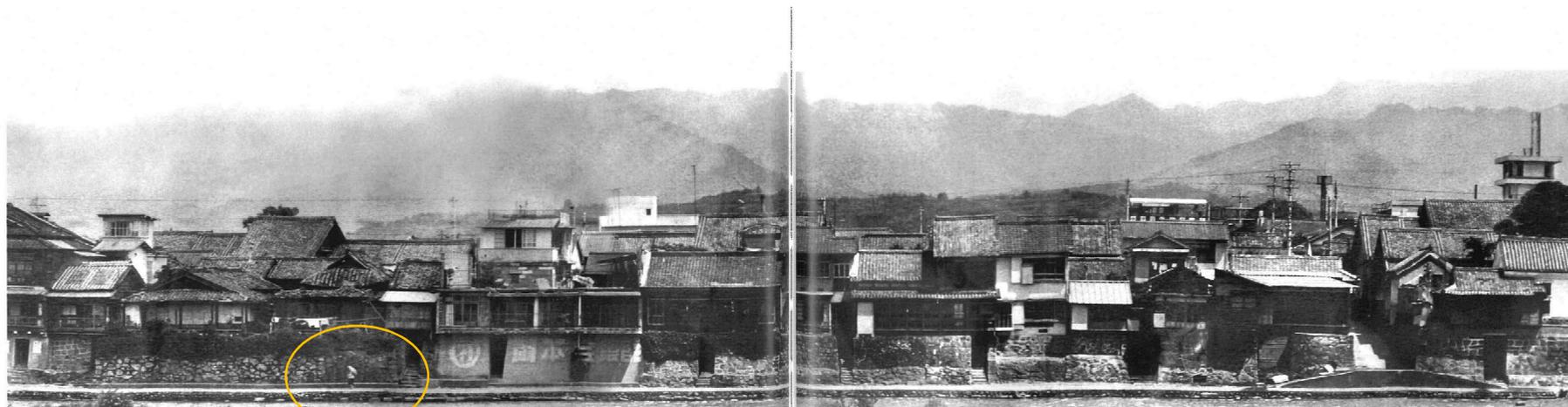


2 中心市街地の歴史・文化について

20

石垣と並行した散歩道。瓦の屋根並みの奥に山並みを借景とする盆地景観。

図 九日町商店街から五日町商店街裏側の様子（昭和30年）



散歩する人

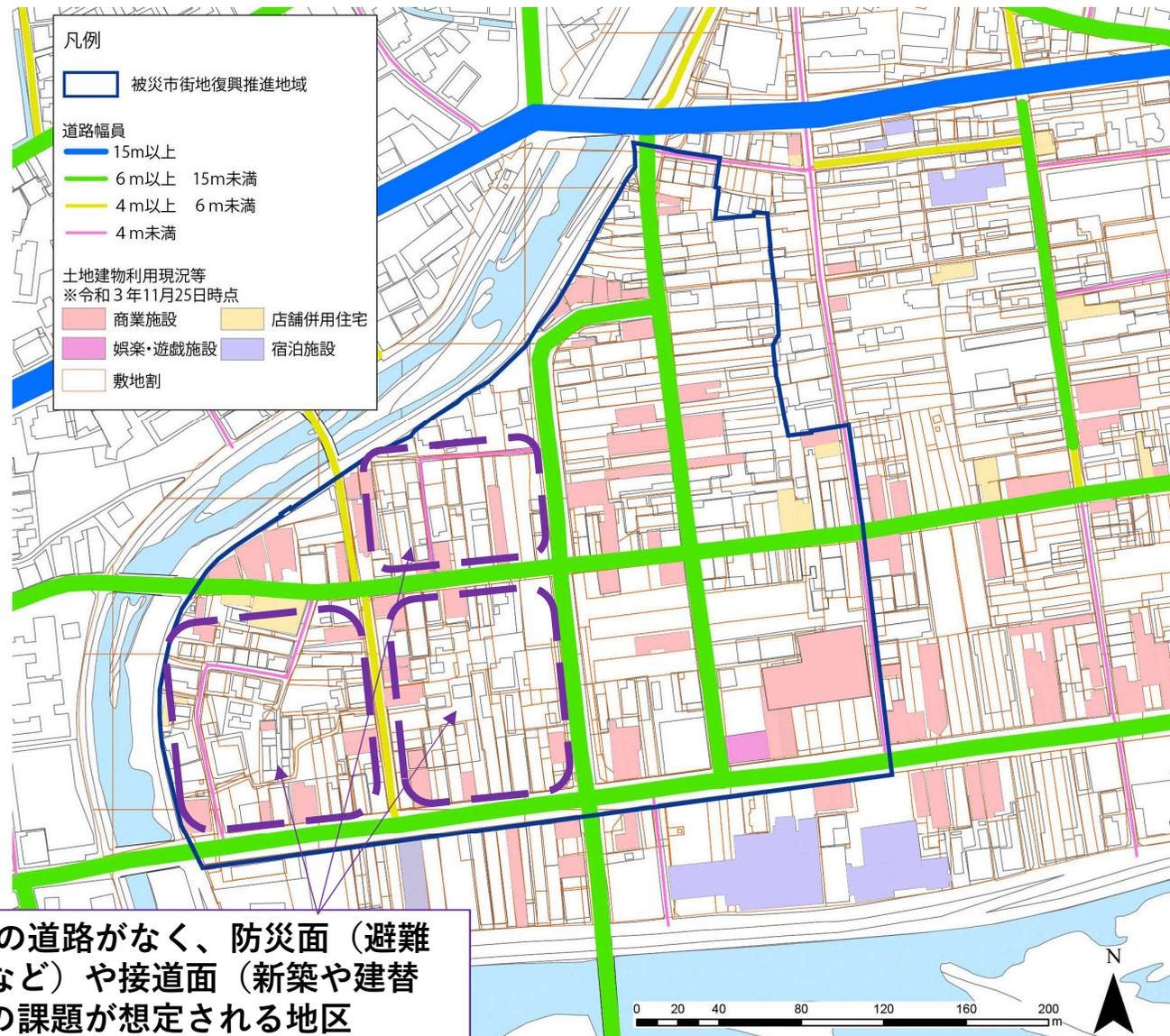
出典：写真アルバム 球磨・人吉の昭和

図 現在の風景



一部で避難や建替えの課題を抱える箇所があり、対応が必要である。その一方で歴史的な町割り・街並み・建物が残り、暮らしやすい生活環境が継承されている。

■まとめ

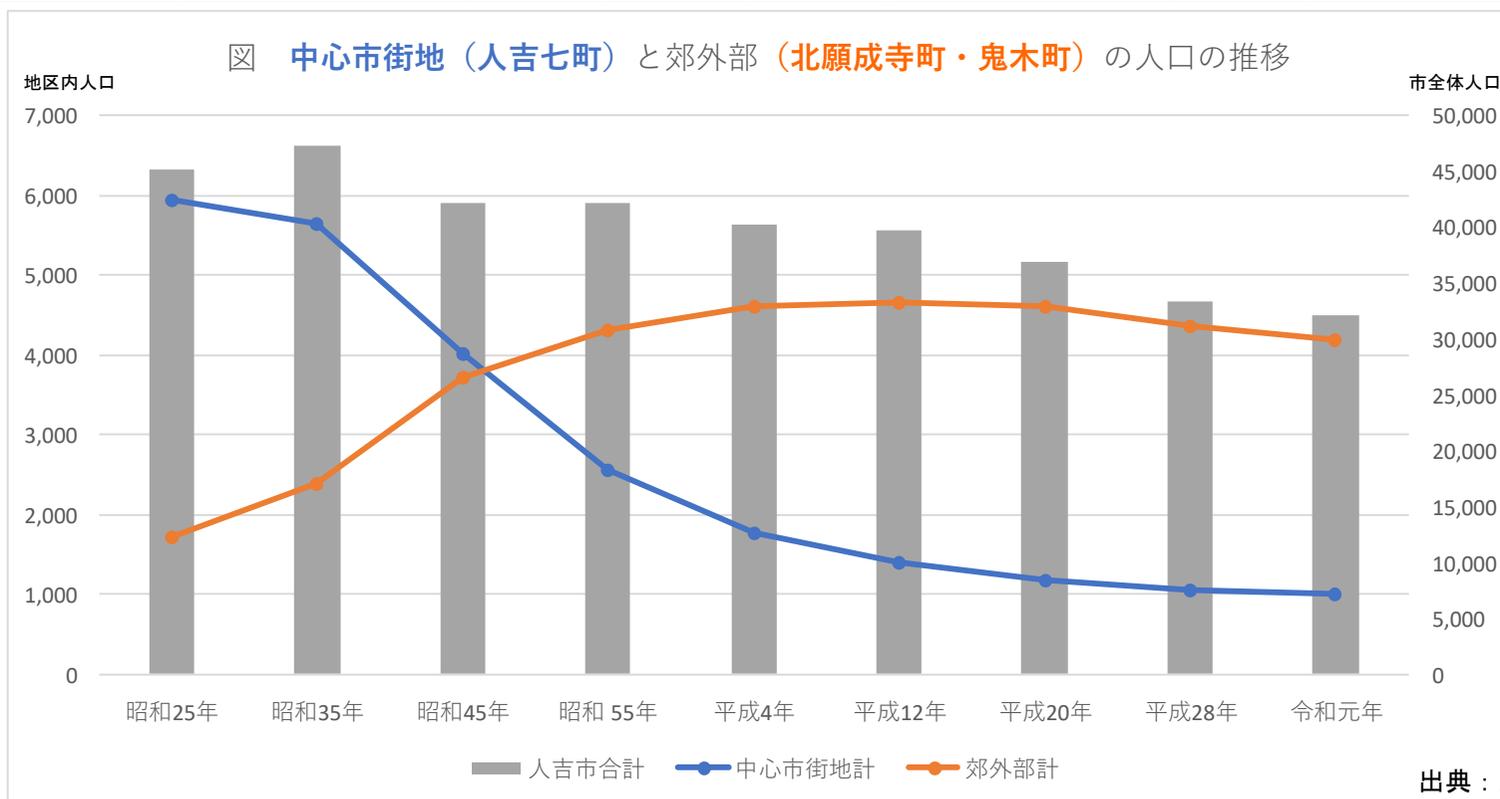


2 中心市街地の歴史・文化について

中心市街地（人吉七町※）では人口減少、郊外部（北願成寺・鬼木町）では人口増加の年度もあり、中心市街地の空洞化が進行。 ※九日町、五日町、二日町、七日町、大工町、鍛冶屋町、紺屋町

表 中心市街地（人吉七町）と郊外部（北願成寺町・鬼木町）の人口の推移

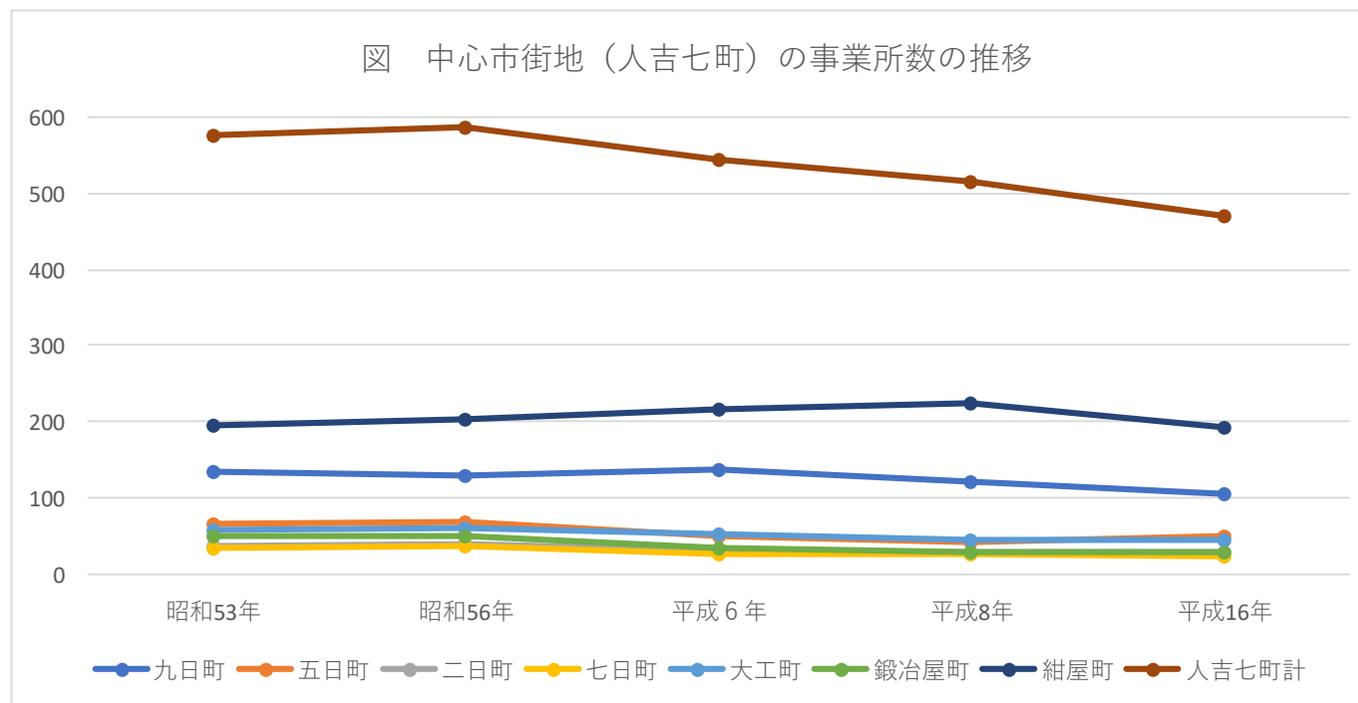
	昭和25年	昭和35年	昭和45年	昭和55年	平成4年	平成12年	平成20年	平成28年	令和元年	令和元年 対 昭和25年
	1950年	1960年	1970年	1980年	1992年	2000年	2008年	2016年	2019年	
中心市街地計	5,950	5,639	4,008	2,553	1,782	1,402	1,183	1,065	1,008	16.9%
（参考）九日町	1,140	834	626	376	291	183	153	192	182	16.0%
（参考）紺屋町	1,205	1,434	1,181	598	390	399	315	290	271	22.5%
郊外部計	1,731	2,394	3,723	4,305	4,620	4,654	4,603	4,358	4,186	241.8%
人吉市合計	45,169	47,259	42,196	42,236	40,173	39,730	36,857	33,443	32,122	71.1%



中心市街地（人吉七町）では事業所数の減少が進み、中心市街地の空洞化が進行。

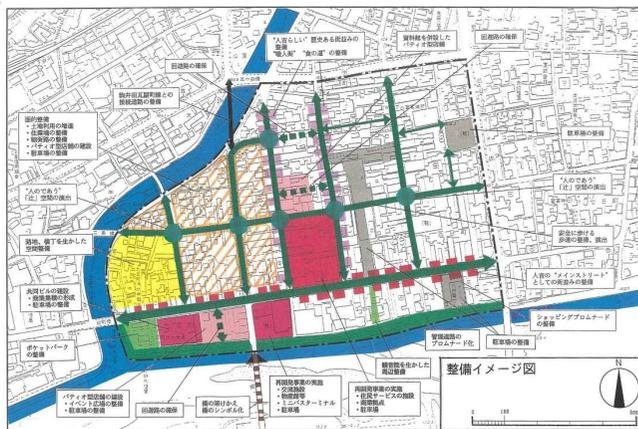
表 中心市街地（人吉七町）の事業所数の推移

	昭和53年 1978年	昭和56年 1981年	平成6年 1994年	平成8年 1996年	平成16年 2004年
九日町	135	130	137	122	106
五日町	67	69	50	41	49
二日町	37	39	30	28	28
七日町	34	36	26	26	24
大工町	58	60	53	45	45
鍛冶屋町	49	49	34	28	28
紺屋町	196	204	216	225	192
人吉七町計	576	587	546	515	472

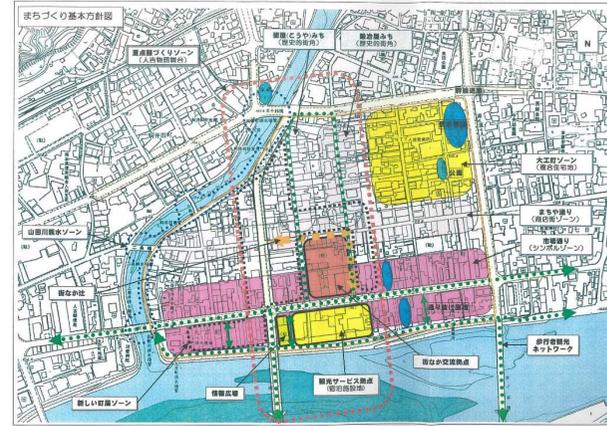


人吉球磨地域の中心的性格を持っていた中心市街地は、昭和50年代に入り、その吸引力は低下傾向になり、平成に入ると周辺圏域における大型店舗などの進出により、ますます厳しい状況となった。

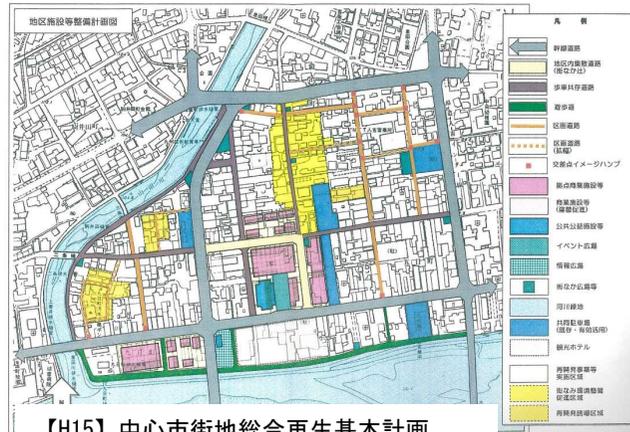
平成に入り、中心市街地活性化に向け、まちづくりに関する計画が策定されてきたが、ほとんどが実現までにはに至っていない。



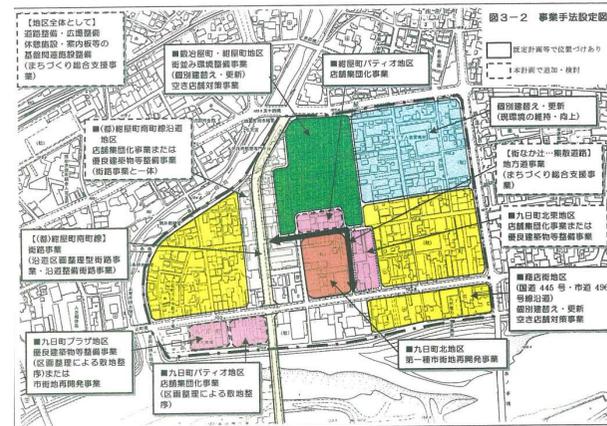
【H11】 中心市街地活性化基本計画



【H15】 中心市街地総合再生基本計画（基本計画図）



【H15】 中心市街地総合再生基本計画
（地区施設等整備計画図）



【H15】 中心市街地総合再生基本計画（事業手法設定図）